あきる野市立前田小学校　研究構想図

【本校児童の実態】
○素直で明るく、意欲的に学習に取り組める。
○問題を粘り強く解いたり、自分の考えを表現したり、相手に伝えたりすることに苦手意識がある。
○相手の考えから自分の考えを深めたり、新しい考えを見いだしたりすることが難しい。

【小学校新学習指導要領】
◆「生きる力」の具体化
◆「主体的・対話的で深い学び」の実現
◆「情報（ＩＣＴ）活用能力」の育成　等

【学校教育目標】
いのちを大切にし、
共に輝き生きていこう
かしこく・なかよく・たくましく

【本校の教育実践】
◇授業の「ユニバーサルデザイン化」
◇話し合いの約束「めだかのがっこう」

【あきる野市教育目標】
人が育ち　人が輝く　あきる野の教育

目指す児童像

低学年
自分の考えをもち、他者の考えをよく聞いて、伝え合おうとする児童

中学年
既習事項を活用して、自分の考えをもち、他者の考えと比べながら深く考えようとする児童

高学年
既習事項や他者の考えを取り入れながら、自分の考えをまとめ、さらに学びを深めていく児童

研究主題

伝え合い、学び合える児童の育成
～ＩＣＴの活用を通して～

研究仮説
　教師がＩＣＴの活用を意図的・計画的に設定して、児童の学びに向かう力を高めていけば、すすんで自分の考えを表現したり、他者の考えを取り入れたりしながら、伝え合い、学び合える児童を育成することができるであろう。

学習場面に応じたＩＣＴ活用

【児童用１人１台端末】
児童がインターネットで必要な情報を調べたり、協働学習ソフトで考えや意見を交流させたりすることができる。

【書画カメラ・投影機】
手元に作った作品やノートの表現などを書画カメラと投影機をつなぐことで、拡大された映像を映すことができる。

【教員用端末】
プレゼンテーションソフトやデジタル教科書など、必要な教材や資料を抽出して、提示することができる。